

# 第3次天草市総合計画の概要

総合計画は、市の将来像を明確に描き、市民と行政が共創して実現するためのまちづくり目標や基本的な方策を明らかにしたものです。本市では令和5年度から7年間を計画期間とする「第3次天草市総合計画」を策定しました。この計画に基づき、将来にわたって夢と希望に満ちあふれた宝の島を実現するために、市民と行政がともに創るまちを目指していきます。

2023(令和5)年度

2026(令和8)年度

2029(令和11)年度

## 基本構想(7年間)

前期基本計画(3年間)

後期基本計画(4年間)

## 将来像「ともにつながり 幸せ実感 宝の島“天草”」

### ともに学びともに育つまち

天草の将来像を描くのは私たちという気持ちを持ち、ともに学び、ともに手をたずさえ、地域のつながりを深め、一人ひとりが自ら考え行動し活躍できるまちを目指します。また、誰もが歴史と文化を感じ、多様性を認め合い、感謝の気持ちを持ち、天草に愛着と誇りをもてるまちを目指します。

### つながり稼げるまち

天草の農林水産業や商工業、観光業などの様々な産業がつながり、域内経済が好循環する新たな経済社会の仕組みを生み出し、“なりわい”を創出するとともに、誰もが安心して働ける場所があるまちを目指します。

## 将来像を実現するための5つの理念(目指すこと)

### 自然と共生するまち

天草の恵まれた自然を愛し、学びを通して自然環境の保全や自然資源の活用に取り組み、自然と共に生きるまちを目指します。また、様々な分野と連携した取り組みにより、脱炭素社会の実現に向けたまちを目指します。

### 挑み続ける行政経営に取り組むまち

行政は、市民の視点に立ち、社会のあらゆる変化に部署を越えて総合力に対応するとともに、職員一人ひとりが最大限の能力を発揮できる組織づくりを目指します。また、安定した財源の確保と的確な投資による健全な財政運営を目指すとともに、効率的かつ効果的な行政システムにより、挑み続ける行政経営を目指します。

## ともに学びともに育つまち

充実した教育環境の中で未来を担う子どもたちを育てるとともに、専門的な知識を持つ大学などと連携して学びの場を広げることにより、子どもから大人まで生涯にわたり学ぶことができる環境づくりに取り組んでいます。

また、誰もが個性と能力を発揮できる社会を実現するために、あらゆる分野における女性の参画拡大、互いを認め尊重し合う多文化共生社会や人権教育・啓発を推進しています。

崎津集落などの歴史的文化遺産の保存、地域に伝わる祭りや伝統芸能などを継承しながら個性や特色を生かした地域づくり活動を推進し、市民一人ひとりが天草に誇りを持てるまちを目指しています。



日本語の習得やコミュニケーションの場となっている日本語教室



史跡を巡るまち歩きイベント



国指定重要文化財「祇園橋」



世界文化遺産「天草の崎津集落」